

2022年9月15日

EIPS 事務局

EIPS からの情報提供 No.17「令和4年8月分の貿易統計（速報）」

令和4年8月分の貿易統計（速報）概要が公表されました。

令和4年8月分については、輸出は自動車、鉱物性燃料等が増加し、対前年同月比+22.1%の増加となりました。また、輸入は原粗油、石炭等が増加し、+49.9%の増加となりました。その結果、差引額は▲2兆8,173億円となりました。

詳細は、以下の URL 等資料をご確認ください。

<https://www.customs.go.jp/toukei/shinbun/trade-st/2022/202208c.xml>

- ・ [令和4年8月分貿易統計（速報）の概要](#) **NEW**
- ・ [令和4年8月分貿易統計（速速）](#)（[XML版](#)、[PDF版](#)） **NEW**
- ・ [地域（国）別輸出入](#)
- ・ [主要商品別輸出（世界）](#)
- ・ [主要商品別輸入（世界）](#)

各税関は、毎月の貿易統計資料の公表に合わせて、税関独自に特徴的な輸出入貨物の動向を「特集記事」として公表しております。

以下、各税関で公表されました特集記事を参考まで掲載させていただきます。

横浜税関：コショウの輸入：2021年の横浜港、数量及び金額8年連続全国第1位

近年では、コショウは私たちの身近なものとなり、多くの料理で欠かすことの出来ないスパイスとして、世界中で使われています。健康志向から塩分をコントロールするためや、消化をよくすることを目的にコショウを使用する方も増えてきているようです。

詳細は [2209pepper.pdf \(customs.go.jp\)](#) でご確認ください。

名古屋税関：木材パルプの輸入数量・金額 税関別シェア第一位

木材パルプと聞いて何をイメージするでしょうか？ 普段あまり聞きなれないかもしれませんが、木材パルプは紙などの原料になっており、実は私たちの生活にとって身近でかつ必要不可欠な存在となっています。そんな木材パルプの名古屋管内における輸入動向についてトピックを交えながらご紹介します。

詳細は [tokur0409.pdf \(customs.go.jp\)](#) でご確認ください。

- 大坂税関 : マヨネーズの輸出は数量・金額ともに全国・近畿圏が増加  
輸出統計品目表に「マヨネーズ」の項目が設けられて5年が経過しました。  
2016年以前はその他のソースとして扱われていたためマヨネーズとしての  
輸出動向は不明ですが、2017年からの5年分の貿易統計を見ると、全国・  
近畿圏ともに輸出数量・金額は増加しています  
詳細は [tokushu\\_202209.pdf \(customs.go.jp\)](#) でご確認ください。
- 門司税関 : あわびの輸入、門司税関のシェアは14年連続第1位  
魚介類の中でも、コリコリとした歯ざわりが特徴で、刺身、酒蒸し、ステー  
キなどの高級食材としてもおなじみの「あわび」は、ミミガイ科の巻貝のう  
ち大型の種類の総称であり、クロアワビ、エゾアワビなどが有名です。(同  
じ仲間にトコブシも含まれますが、トコブシは小さいことからアワビと呼  
ばれることはあまりないそうです。)  
詳細は [202209awabi.pdf \(customs.go.jp\)](#) でご確認ください。